

術中迅速細胞診

表-1

〈依頼方法〉

予約検査 となります。急なご依頼の場合や、時間帯によっては受託できない場合もございますので必ず前もって予約の確認を行って下さい。

(1～2週間前までに)

必ず右の「術中迅速病理組織・細胞診 申込書」(表-1)に必要な事項を記入し、FAXもしくは弊社集配担当者にお渡し下さい。

〈提出方法〉

検体をスピッツに入れ、EDTAなどの抗凝固剤を添加し、冷蔵状態で提出して下さい。

〈申し込み時の注意事項〉

- ・ 検査結果連絡先は、執刀医に直接報告できる電話番号をご記入下さい。
- ・ 可能であれば、本申込書と細胞診検査依頼書のコピーと一緒にご提出下さい。

申込日 平成 年 月 日
※手術実施予定日の1週間前までに申込書を出してください

東海細胞研究所 行

術中迅速病理組織・細胞診 申込書	
病院名	
検査項目	迅速病理組織検査 ・ 迅速細胞診検査
手術実施予定日	平成 年 月 日 ()
手術開始時間	AM ・ PM 時 分
採取予定時間	AM ・ PM 時 分頃 (連絡していただく場合は検体ですません、ご了承ください)
患者情報	氏名 様 (男・女) 歳
臨床診断	
提出検体(名)	結核・HIV・CJJD等、感染症がある場合は原則受付できません。 感染症のある場合は下記にご記入頂き、ご相談ください。
感染症	無 ・ 有 ()
検査希望事項	
検査結果連絡先	TEL ー ー (内線) (手術室・検査室) 執刀医へ直接報告できる電話番号を記入してください。 利 先生
【検体の提出方法及び注意事項】	
○ 迅速細胞診検査 検体をスピッツに入れ、EDTAなどの抗凝固剤を添加し、冷蔵状態で提出してください。	
○ 迅速病理組織検査 提出検体は、18×10×5mm以内で切り出し、生理食塩水で洗ったガーで包み、冷蔵状態で提出して下さい。脂肪組織は除いてください。	
ー 実物大です	
・採取回数が多い場合や切り出しが必要な場合、標本作製に時間がかかることがあります。	
・提出検体について、迅速病理組織標本作製が困難(骨、脂肪、小組織など)と病理医が判断した場合、通常の病理標本作製(翌日夕方報告)に変更させていただきます。	
・検体採取時間が12:00以降となった場合、病理診断書の送達が困難となります。	
その場合、通常の病理標本作製(翌日夕方報告)に変更させていただきます。	
□ 上記内容に同意し、術中迅速検査を申し込みます。	
弊社記入欄	
※上記検査について承りました。	
検査部確認日	平成 年 月 日 担当者 印
株式会社 東海細胞研究所 TEL(058)273-4399 FAX(058)273-4392	